

【京都府立京都八幡高等学校】

学習指導と学習評価の工夫・改善点の概要

- ①グループでWebサイトを制作し、HTMLやCSSの知識・技能だけでなく、コミュニケーション能力を育む。
- ②テーマを「小学生の学びにつながるWebサイト」と設定し、相手の立場に立ってコンテンツを制作、評価、改善する力を育む。

評価規準

- 【知識・技能】：文字、音声、静止画、動画などを組み合わせたコンテンツを制作する技能を身につけることができる。
- 【思考・判断・表現】：アクセシビリティやユーザビリティに配慮してコンテンツを制作し、効果的に発信することができる。
- 【主体的に学習に取り組む態度】：チームで協力して制作したWebサイトを、評価し改善しようとしている。

他校種との協働的な学び

①「小学生の学びにつながるWebサイト」の魅力的な内容をグループで考える。

②Webサイトの案を小学生にプレゼンし、感想や意見を求め改善に活用する。

③Webサイトを制作する。高校生が、小学校を訪問し、Webサイトの説明をする。

④小学生からのフィードバックを元に、Webサイトを改善し、よりよいものに仕上げる。

- ① 1年次の情報Ⅰでは、個人でWebページを制作した。2年次の情報Ⅱでは、グループで協働したWebサイトの制作に取り組みたいと考え、「小学生の学びにつながるWebサイト」というテーマを設定した。また、グループでアイデアを出し合い、どのような内容が適切かを考えさせた。
コンテンツの案：人間の身体・動物・中学校生活・ゲームとの上手い付き合い方
- ②コンテンツの案についてグループ間でプレゼンを行い、その様子を撮影した動画を小学生に見せた。小学生からの意見を動画で返答してもらい、Webサイトの制作に活用した。
- ③小学校を訪問し、グループごとにWebサイトを説明した。後日、小学生から使用感や内容についての感想や意見を返してもらった。
- ④グループ内でWebサイトの評価を行い、フィードバックをもとに改善点を洗い出して完成させた。

京都府

- 地域の中にある課題を発見し、その課題を解決しようとするテーマ設定になっている。また、コンテンツ制作のプロセスをしっかりとたどっている。
- 自分の考えをまとめ、グループで共有、協働するといった場面で、1人1台端末、校内で導入しているアプリを活用している。また授業の内容によってコンピュータ教室も併用している。
- 小学生の協力を得て、実際に意見交換をすることで、よりユーザに合ったコンテンツを提供することができる。今後の小学生の行動変容を期待しながら、今回1度きりの取組で終わることなく、継続して地域に貢献する高校生の活躍の場となることを期待したい。